

事後内部評価シート

調査研究課題名	東アジア航空市場とローコストキャリアの将来像
担当者	特別研究員 高橋広治
当初目標と目標達成度	<p>本調査は、航空市場の共通化やローコストキャリアの成長について、先行する欧州における取り組み等を整理・分析することにより、東アジア地域における将来像を見通し、今後の我が国の航空政策の企画立案の一助とすることを目的としたものである。</p> <p>調査においては、東アジア地域における航空市場の共通化に向けた課題の整理や我が国におけるローコストキャリア成長のための具体的方策について整理することができ、今後の航空政策への示唆も行うことができた。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>東アジア地域における航空市場の共通化はまだ具体的な政策課題とはなっていないが、欧州における航空市場の共通化、近年の東アジア地域における経済連携の進展、今後10年間にFTAの締結を促進するという政府方針等を踏まえると、早晩航空行政の重要課題となることが予想される。また、航空市場の共通化は規制をさらに合理化し航空会社間のより一層自由な競争を促進する効果を持つため、新しいビジネスモデルにより低コスト・低運賃で市場に参加する航空会社が増加し、ローコストキャリア(LCC)が東アジア地域においても欧米と同様に航空市場において一定程度のシェアを占めることが見込まれる。こうした新しい動きについて現段階で整理しておくことは、今後適時・適切に航空政策を展開していくために必要である。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>本報告書は、航空市場の共通化やローコストキャリアの成長に関する欧米等の取り組みを整理することが一つのテーマであり、文献調査と海外の航空当局、航空会社、空港管理者といった関係者へのヒアリングを行い複眼的・客観的な分析に努めた。</p>
成果と活用(予定)	<p>本報告書により、航空市場の共通化やローコストキャリアの成長に関する欧米等の取り組みが整理され、今後の航空政策への示唆についても整理しており、国の政策担当者等において、同課題を検討する際の基礎的な資料として活用されることが期待される。</p>
その他	
内部評価委員会意見	